

平成 28 年 2 月 13 日

上越市長 村山 秀幸 様

上越市浦川原区地域協議会

会長 藤 田 宏 禎

霧ヶ岳温泉ゆあみに関する意見書

日頃、上越市民の豊かな暮らしと上越市発展のため、全力で市政運営に携わっておられますことに深く敬意を表しますとともに、浦川原区の地域自治にご配慮いただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

さて、上越市の公の施設の再配置計画が示されてから 1 年を迎えようとしております。浦川原区におきましては、特に霧ヶ岳温泉ゆあみが平成 28 年度をもって休止との方針が示されましたことを重く受け止めております。霧ヶ岳温泉ゆあみにつきましては、これまでも経営不振改善のため、関係者が多くの議論と様々な取組を行い、存続に向け努力してきた経緯があることから、市の示した休止の方針は誠に残念でなりません。しかしながら当協議会としましても、ゆあみの今後を冷静に検討する必要があるとの考えから、浦川原区の地域の代表者、NPO 夢あふれるまち浦川原の代表者による検討会を設けて、地域としてどうするのか議論を重ねました。

その結果を受け、当地域協議会で更に議論し取りまとめた意見を、別紙のとおり提出いたします。

区の住民と行政が今後も真摯に向かい合い、お互いの信頼関係を保ちながら今後の協議を進めていくことが何よりも大切であると認識しておりますので、市におかれましては誠意ある回答をお願いいたします。

なお、3 月に開催予定の地域協議会に回答をいただきますよう申し添えます。

霧ヶ岳温泉ゆあみに関する意見

1. 公の施設再配置計画による「平成 28 年度をもって休止する」との方針についてはやむを得ないと判断する。

2. 休止後のゆあみについて、以下のとおり提案する。
 - ① 現在の温浴施設としてのゆあみを運営する民間事業者等の譲渡先を精力的に探すこと。また、温浴施設としての譲渡先がない場合は、現在の建物を活用した事業を展開する事業者等を探すこと。
 - ② 単に公募ではなく、市は可能な限りの周知と打診を行うこと。浦川原区の住民としても譲渡先を探すことについて努力したい。

なお、譲渡に当たっては地域コミュニティの場としても活用できるように譲渡先と調整すること。
 - ③ 民間事業者等の譲渡先が見つからない場合は、地域のコミュニティ基地としての活用を検討したい。

霧ヶ岳登山のベースや地域の季節ごとのイベント（若葉まつり、灯の回廊、お宝道探検等）にも使われており、駐車場・トイレ・炊事場・八重桜・竪穴住居もあることから、今後もこれらを活用した地域の活動が可能である。
 - ④ ただし、現在の建物では運営に多くの費用が必要になることから、建物のコンパクト化を図るか、あるいは適切な規模の代替施設を要望する。
 - ⑤ その施設は、浦川原区の住民の力で運営できる施設とすることが重要であり、今後も当該箇所を有効に活用していくことを検討したいと考えているので、市は今後その検討に前向きに応じること。

以上